

平成27年5月19日

札幌市長 秋元 克広 殿

道路を考える会 代表 原田 さち



札幌市中央区

TEL080-9619-1996

## 環状通（南19条）の整備事業についての「情報提供窓口設置」への申し入れ書

いつも札幌市・札幌市民のために市政にご尽力いただきありがとうございます。日々の暮らしが滞りなく過ごせること、誠にありがたく御礼申し上げます。

環状通の整備事業について、地域住民に対して説明をする機会を設けていただき誠にありがとうございます。

2015年4月27日に、上記の地域へのご説明に先だち「道路を考える会」と札幌市建設局土木部道路課様ならびに、市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課様との話し合いの機会が設けられました。

大変丁寧なご対応をいただきましたことを、お礼申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

札幌市からの資料にそってご説明を受けました。

「道路を考える会」、沿道住民、様々な市民活動をされている方、自然保護の有識者の方や、大学の先生等々、多くの質問やご提言がありました。札幌の道路づくり・まちづくりに対する行政と市民や有識者がより深く考え、意見の交換ができる大変有意義な話し合いの時間でした。このような機会をつくっていただきほんとうにありがとうございました。

いただいた資料と当日のご説明を受けまして、上記の地域への説明に際して、是非とも加えてご説明いただきたい点を申し入れさせていただきます。

1、札幌市都市計画道路 3・2・10 環状通の幅員（道路の幅）は、36mであること。

南19条部分は、広げた状態で27mであり、9mも狭いこと。

9mも狭いところに同じ6車線の車線を入れてくることは、無理があること。

（建設省昭和50年の課長通達の主要幹線道路の標準幅員からも、明らかに無理がある）

これらのことから、環状通の他の地域より、より交通安全や大気汚染・騒音・振動の環境状態は悪くなること。



## 2、交通量の将来推計について

札幌市は、現状の交通量の約2倍の交通量を環状通南19条に負担させる交通計画であること。

道央都市圏全体では、車の交通量は減少する中で、ここ南19条には、約2倍もの車の交通量を負担させる計画を持って、環状通の6車線化を計画していること。

札幌市の交通計画では、南19条に車を集める計画であること。

ですので、渋滞緩和どころか、より車が混雑する状況になる可能性が高いこと。

実際、羊が丘通の整備等、南19条へ車を集める目的の札幌市の交通計画は進められているということ。

## 3、地域の住民から出されている、環状通南19条部分の道路整備の代案（「道路を考える会」の要望案の道路）についても、知らせていただきたくお願い申し上げます。

地域の方たちに、車道5車線の道路の形のよい点を知っていただけるように、行政側からもご協力いただきたくお願い申し上げます。

以上、申し入れさせていただきます。

札幌市による「環状通(南19条)の整備事業について、2015年6月10・11・13・14日に、地域の皆様への情報提供窓口の設置」にあたり、上記の点を、地域の住民の方々へ、ご理解・ご周知いただきたくお願い申し上げます。

上記、申し入れに対しての札幌市のご見解をご回答いただきたくお願い申し上げます。書面の形で郵便にて、6月4日までに、原田さちこの元に確実に届くようお願い申し上げます。札幌市のご誠意あるご対応を切にお願い申し上げます。